

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(管理 運営用)

I 基本事項

整理番号 363

事業名	老人福祉センター管理費(湯の川荘、伊加利コミュニティセンター)		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3005			項	社会福祉費・1項
			目	老人福祉センター費・6目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命_【健康】			
	施策目標	高齢者の生きがい活動や就業の場、癒し・消費の場を広げる			

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設概要	設置目的	対象(誰を・どのような状況の人を)		
		市内、市外を問わず施設を利用される方		
		意図 (どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市老人福祉センター湯の川荘は、うずしお温泉を直接給湯し、市内外を問わず、多くの方にご利用いただき、温泉入浴を通じて健康増進と住民福祉向上の場を提供する。		
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)		
		施設名称	南あわじ市老人福祉センター湯の川荘	
		所在地	南あわじ市伊加利1181-1	
		設置年度	昭和 60 年度	
	稼動状況	南あわじ市老人福祉センター湯の川荘 昭和60年5月1日開設(構造)鉄筋コンクリート平屋建瓦葺(面積)268.57㎡ 集会室 生活相談室 事務室 男・女浴室		
		南あわじ市伊加利コミュニティセンター 昭和58年6月1日開設(構造)鉄筋コンクリート平屋建瓦葺(面積)244.00㎡ 集会室 研修室 茶屋 調理室 事務室		
	施設設置根拠法令等	(施設の利用状況、稼動状況)		
平成18年度利用者状況 月平均 約2,478人 年間26,717人				
開館時間	午前 9 時 00 分 ~ 午後 5 時 00 分			
休館日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝祭日 (その他)			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託			
	委託団体	平成18年度は直営、平成19年度は南あわじ市シルバー人材センターへ一部委託		
	委託内容	管理事務員 1名		

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

		(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)					
管理手法	消防設備保守点検業務委託	(施設消防設備点検及び報告書作成)					
	ボイラー・ろ過装置等点検業務委託	(湯の川荘 ボイラー・ろ過装置点検)					
	伊加利コミュニティセンター管理委託	(伊加利コミュニティセンター管理)					
	湯の川荘管理業務委託	(受付事務・施設清掃作業等)					
平成16年度施設修繕	洗水ポンプ修繕						
平成17年度施設修繕	ボイラー修繕	浴室シャワー・カラン等修繕	ボイラー修繕				
平成18年度施設修繕	トイレドア修繕	ボイラーサーモ軸修繕	配管・ろ過機電動弁等修繕				
	ろ過機電動弁修繕	浴室入口引き戸修繕	浄化槽ブローアーク修繕				
	ポンプ修繕	浴室タイル修繕	水漏修繕	ボイラー修繕			
施設管理従事職員		市職員	人	委託団体職員	人	合計	0人
受益者負担について(料金体系、根拠法令など)							
使用料等	南あわじ市老人福祉センター条例に定める金額						
	市内の方	60歳未満	300円				
		60歳以上65歳未満	200円				
		65歳以上	100円				
	市外の方	年齢に関係なく	600円				
	身体障害者福祉法に規定する身体障害者手帳を所持されている方 無料						
減免措置(減免内容、根拠法令など)							
	南あわじ市老人福祉センター条例施行規則により、使用料の減免を受けようとするものは、老人福祉センター使用料減免申請書を市長に提出する。						
資源配分 インプ ト			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)		10,489	12,471	10,018	14,532	
	燃料費		1,432	1,507	1,481	1,445	
	電機使用料		745	678	744	696	
	上下水道使用料		1,741	1,514	1,794	2,052	
	温泉使用料		208	161	144	156	
	施設修繕料		273	123	500	500	
	その他		6,090	8,488	5,355	9,683	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	使用料						
	その他		2,438	2,435	2,435	2,436	
	一般財源[A]		8,051	10,036	7,583	12,096	
人件費(正規職員)[B] (千円)		614	598	0	0		
平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1		
事業量1(事業に要した日数)		1	1				
事業量2(事業に要した人数)		20	20				
年間経費([A]+[B])		8,665	10,634	7,583	12,096		
経費に関する 補足説明							

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	人	29,743	29,743	29,743	29,743
	成果指標実績値	人	29,743	26,717	26,049	
	目標達成度	%	100.0	89.8	87.6	-
	成果指標	年間利用者数	単位	人数		
	指標算出の考え方	平成17年度年間利用者数を100とする				
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。) 平成18年度は平成17年度と比べて、利用者数はやや減少したものの、多くの方に利用していただいている。しかし、幅広い地域からの利用者があるとは言えず、利用者はほぼ固定されていると思われる。						自己評価 (5点評価)
						3
効率性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	年間経費	千円	8,665	10,634	7,583	12,096
	年間利用者数	人	29,743	26,717	26,049	
	利用者1人当りコスト	千円	0.3	0.4	0.3	-
	延床面積	m ²	269	269	269	269
	面積1m ² 当りコスト	千円	32.3	39.6	28.2	45.0
(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 現在、湯の川荘の支出の半分は燃料費、光熱費が占めている。 コストに見合った、利用者数を維持できるか、また、利用者に満足のいくサービスを提供できるかが課題である。						自己評価 (5点評価)
						3
必要性	行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。) 湯の川荘は、うずしお温泉を利用した入浴サービスを利用できるため、年間27,000人と他の老人福祉センターよりも利用者が多い。また、温泉の効能が好評であり、身体障害者の方の利用も多い(年間約5,000人)。 設置目的にある住民福祉向上の場として、多くの方に利用されており、必要性が高い施設と言える。 住民福祉の向上という施設の設置目的を念頭に置いて、施設のあり方を考える必要がある。					
						3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	<p>利用者が年間約27,000人と多く、老人福祉センターとしての必要性は高い。</p> <p>使用料による収入よりも市が負担している支出が多い。営利を目的としない福祉施設であることを考え、民間に任せるよりも、現状どおり市で管理する方が良いと思われる。</p> <p>また、今後事業を進める上で、継続して一定の利用者を得ることができると等々を注意しつつ、他の温浴施設との整合性を考え、適正な使用料を検討する必要がある。</p>					
						<p>評価グラフ</p>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 現状維持
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の状況を調査した上で、日曜日以外に別の休館日を設けることを検討する。 ・浴場の利用時間を短縮し、燃料費・光熱費の削減を図る。 ・他温浴施設との整合性を考え、利用料金の値上げを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的な利用料の値上げモデルを検討する。 ・数年分の月別利用者数を見たうえで、季節ごとの会館時間、休日等の見直しを検討する。
見直しにより見直しの期待される効果	・経常経費の削減。	・経常経費の削減。
廃止・委託の影響 (現状維持の場合も記入)	仮に施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間予算約967万円(18年度)が削減できる。 ・施設の老朽化に起因する修繕費・改修費が必要でなくなる。 ・多くの利用者がある施設を廃止することは、市の福祉サービスの低下につながると思われる。 	
他の類似施設を持つ自治体の動向等	仮に外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・管理業務料の低減化等、経常経費の削減。 ・利用者にとって低負担で提供できるサービスを維持することが困難になる。 	
	他の老人福祉センターは地方自治法の改正に伴い、指定管理者により管理している。	